

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公開番号】特開2016-116648(P2016-116648A)

【公開日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2016-039

【出願番号】特願2014-257854(P2014-257854)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を用いた遊技が行われる遊技領域と、

該遊技領域よりも下側で前方に膨出している膨出部と、

該膨出部の上下方向に所定の大きさを有して形成された配置空間に設けられる操作手段と、

該操作手段の下部付近に配置されており、前記操作手段を振動させる振動手段とを具備していることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、

遊技媒体を用いた遊技が行われる遊技領域と、

該遊技領域よりも下側で前方に膨出している膨出部と、

該膨出部の上下方向に所定の大きさを有して形成された配置空間に設けられる操作手段と、

該操作手段の下部付近に配置されており、前記操作手段を振動させる振動手段とを具備することを特徴とする。

また、本発明とは別の発明の手段を以下に示す。

手段1：遊技機において、

「遊技媒体を用いた遊技が行われる遊技領域と、

該遊技領域よりも下側で前方に膨出している膨出部と、

該膨出部における所定の取付部位に設けられ、前面を前方斜め上へ向けて配置されていると共に、該膨出部における上面付近から下面付近までに亘るような大きさに形成されており、遊技者が操作可能な操作受部と、

該操作受部の下部付近に配置されており、前記操作受部を振動させる振動手段と

を具備している」ものであることを特徴とする。